

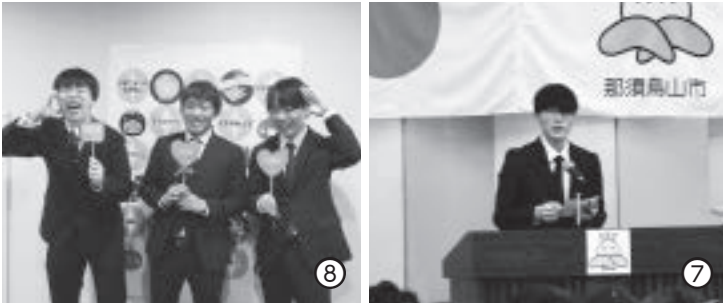
門出の日 笑顔晴れやかに



特集 市はたちを祝う会・市駅伝競走大会	2
確定申告が始まります！	6
介護予防大会・賀詞交歓会	7
大谷翔平選手が小学校にグローブ寄贈	9
まちかどリポート・「からせん」の思い出	13
お知らせ	14
みんなの自慢の1枚・イルミネーション	16

新たな門出、笑顔広がる

市はたちを祝う会



①・②・⑧旧友との再会に笑顔を見せる、③華やかな着物姿で受け付けする参加者、④盛り上がりを見せたクイズ大会、⑤記念撮影の様子、⑥恩師からのビデオメッセージを見る参加者、⑦益子さんによる代表あいさつ

自覚と希望を胸に新たな一歩

1月8日の「成人の日」を前に7日(月)、城山の風月カントリー倶楽部で「令和6年那須烏山市はたちを祝う会」が開かれました。今年、20歳を迎えたのは、平成15年4月2日から平成16年4月1日生まれの234人。このうち約8割に当たる169人が式典に出席しました。会場には、色とりどりの振袖や紋付袴、スーツを身にまとった参加者たちが集まり、旧友や恩師との再会に笑顔を見せていました。

式典では、川俣純子市長が「周りの方々への感謝と未来への希望を胸に、力強く歩んでいってください」とあいさつ。続いて、渋井由放市議会議長、沼田邦彦県議会議員が祝辞を述べました。そして、参加者を代表して益子大輝さんが「各々の目標や夢に向かい自身の選択に責任を持ち、未来を切り開いていけるよう精進します」とあいさつしました。

想いのこもった手作りの記念行事

本市では、例年、20歳の対象者の有志による実行委員会が、記念行事の企画や当日の運営を行っています。今年のテーマは「飛翔〜Leaving the nest〜」。20歳を迎えた節目として巣立ち、広い世界へと飛び立っていかうという想いが込められています。会議は、8月上旬から8回開かれ、13人の実行委員が共に20歳を迎える友のために準備を進めました。

小・中学校時代を振り返る写真スライドショーでは、実行委員の樋山風翔さんのギター弾き語りに合わせて、懐かしい写真の数々が映し出されました。その後は、中学校時代の恩師からのビデオメッセージが上映されたほか、参加者の子ども時代を振り返るクイズ大会も行われ、会場は盛り上がりを見せました。

SNAP PHOTO

特集

普及啓発

市政情報

地域の情報

まちかどレポート

お知らせ



はたちの夢・目標

小説家になる



石田陽人さん(金井2丁目出身)

良い車に
乗りたい!



青木ゆえさん(滝田出身)

実家の
酪農を継ぐ



黒尾真斗さん(上川井出身)

声優になる!



山口実咲さん(谷浅見出身)

良いオンナになる!!



吉澤陽向さん(志鳥出身)

立派な
作業療法士になる



石川陽太さん(鴻野山出身)

地域に根ざした
看護師になる



山田桃香さん(南1丁目出身)

格好良い漢になる



大森陽太さん(下境出身)



①

第18回那須烏山市 駅伝競走大会



⑤



⑥



⑦



②



③



④

①号砲の合図で小学生が一齐にスタート、②満田さん兄弟による「双子」タスキリレー、③3区から4区へ藤田が1位でタスキリレー、④烏山大橋を力走、⑤5区の選手が市役所烏山庁舎前を通過、⑥「後は頼んだ！」とタスキを渡す、⑦第8中継所では3チームが繰り上げスタート、⑧中央北Aが1位でゴールテープを切る、⑨仲間のもとに笑顔でゴール！、⑩区間賞の表彰、⑪優勝した中央北Aの皆さん



冬晴れ的那須烏山路駆け抜ける 中央北Aが6連覇！

1月14日(日)、今年で18回目となる「那須烏山 市駅伝競走大会」が開かれ、中央北Aが6年連続の優勝を果たしました。今回は、市内事業所チームとして矢崎部品(株)が初出場し、合計11チームが烏山運動公園から保健福祉センターまでの10区間23・3キロを駆け抜けました。

午前10時、木下実行委員長による号砲を合図に11人の小学生選手が烏山運動公園前を一齐にスタート。第1中継所では、2位に30秒以上の差をつけ、境がトップで通過しました。2区では藤田がトップとなり、続いて那須南病院駅伝部や境が追いかけてきます。その後、着実に順位を

上げてきた中央北Aが5区でトップに。7区では、藤田が追い上げを見せ再びトップに躍り出ますが、中央北Aが8区で抜き返すとその後は順位を譲ることなく、優勝のゴールテープを切りました。

6年連続で優勝を果たした中央北Aの滝哲夫監督は「選手皆さんの走りが素晴らしく、練習の成果が出せてうれしいです。7連覇目指して来年も頑張りたい」と喜びを語りました。大会の総合成績および区間賞は左記のとおりです。

大会結果

総合成績

①中央北A	1時間26分29秒
②藤田	1時間28分13秒
③境	1時間31分14秒
④鴻野山A	1時間31分44秒
⑤山あげ	1時間34分07秒
⑥八ヶ代	1時間35分54秒
⑦中央北B	1時間51分34秒
⑧那須南病院駅伝部	1時間55分48秒
⑨矢崎部品チーム	2時間10分28秒
OP七合	1時間37分50秒
OP鴻野山B	1時間42分06秒

区間賞

1区 各和大翔 (境)	新3分40秒
2区 川井健史 (那須南病院駅伝部)	7分06秒
3区 中山憲昭 (藤田)	8分51秒
4区 柳田尚皓 (中央北A)	9分44秒
5区 若松武史 (中央北A)	10分08秒
湯家谷怜央 (鴻野山A)	10分08秒
6区 青木哲也 (七合)	9分33秒
7区 照内修佑 (鴻野山A)	8分11秒
8区 猪野卓也 (中央北A)	新9分08秒
9区 瀧澤愛優菜 (八ヶ代)	5分39秒
10区 青山栄一 (中央北A)	10分09秒

※敬称略、「新」は新記録

税務課からのお知らせ

確定申告が始まります！

市では、令和5年分の所得税確定申告および住民税申告を受付します。

■日時 2月16日(金)～3月15日(金)

※土・日曜日および祝日は除く。

■受付 午前8時45分～11時

午後1時～4時

■場所 烏山庁舎2階 第4・5会議室

(待合室は第2会議室)

※申告は烏山庁舎のみで受付します。南那須庁舎では受付しませんのでご注意ください。

※午前の部については、混雑時などは早めにお申し込みを締め切らせていただくことがあります。

●感染症拡大防止のためのお願い

- 確定申告会場は大変混雑し、長時間お待ちいただくことが想定されます。極力パソコンやスマートフォンを利用した申告をお願いします。
- 待合室外での待機をお願いすることがありますが、ご理解ご協力をお願いします。

●代表者一人での来庁にご協力ください。また、発熱や咳など風邪のような症状がみられ、体調に不安がある場合は無理をせず、回復してからの申告をお願いします。

お問い合わせは、地区割当日以外でも受付可能です。

●自書申告書の預かりは行いません。税務署へ郵送で提出をお願いします。

●申告書の作成は国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」で！

国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」の画面の案内に従って金額などを入力すれば、税額などが自動計算され、所得税および復興特別所得税の確定申告書が作成できます。作成した申告書をご自宅のプリンタで印刷すれば、確定申告会場に行かなくても、郵送などで提出することができます。

※ご自宅にプリンタがない場合でも、PDFファイルで保存すればコンビニなどで出力可能です。

詳しくは、QRコードを読み取るか、URLを入力して、国税庁ホームページの確定申告特集ページをご確認ください。



URL <https://www.nta.go.jp/taxes/shiraberu/shinkoku/tokushu/index.htm>

■問合せ

税務課 ☎0287-83-1114

期日	午前の部	午後の部	期日	午前の部	午後の部
2/16(金)	野上(上・第四)	野上(下・野上台・舟戸)	4(月)	志鳥上	志鳥(中・下)
19(月)	森田宿・輪之内・こぶし台	曲田・曲畑	5(火)	藤田	三箇(上・中)
20(火)	下川井	三箇下・上川井	6(水)	旭	向田・落合・滝
21(水)	興野(中・下二)	興野(上・下一)・滝田	7(木)	田野倉・小倉・宇井	鴻野山・小白井・西野・芦生沢
22(木)	小木須・小原沢・横枕	大木須・大沢・宮原	8(金)	南大和久	八ヶ代・福岡
26(月)	谷浅見	大桶	11(月)	神長	中央
27(火)	高瀬・大里・小埜	大金・東原・小河原	12(火)	月次・大金台	熊田
28(水)	金井	初音・城東・表・愛宕台	13(水)		予備
29(木)	南	中山・八ヶ平・白久・平野	14(木)		予備
3/1(金)	下境	上境	15(金)		予備

※番号札の配布は午前8時30分からです。市役所始業前の受付はできません。

※期間中にスマホ申告の操作支援を行いますので、希望する人は受付で声をかけてください。

(2月16日～22日は税務署と協力し実施します)



◀ 乾杯する参加者

明るい年へ願いを込めて 賀詞交歓会

市、商工会、J Aなす南による「賀詞交歓会」が、1月12日(金)に風月カントリー倶楽部で開かれ、行政関係者や各種団体、企業の代表者など120人が参加しました。当日は、川俣純子市長が「第3次総合計画が新たにスタートした。『まちづくりの主体は市民』であるという基本原則のもと、市民一人ひとりの知恵と力を結集した『持続可能なまちづくり』の実現を目指したい」とあいさつ。その後、渋井由放市議会議長や沼田邦彦県議会議員らもあいさつし、明るい年となるよう願いました。



◀ 永島さんによる講演会の様子

講演と寸劇で認知症を学ぶ 第10回介護予防大会

12月19日(火)、烏山公民館で第10回介護予防大会が行われ、市民112人が参加しました。

これは、認知症の人が住み慣れた地域で暮らせるよう、地域全体で認知症について考えようと市が開いたもの。当日は、消費者生活リーダー連絡協議会那須烏山支部による寸劇が行われたほか、講演会ではNPO法人風の詩の永島徹さんが、認知症の人が地域と交流することの大切さやそのために地域住民ができることなどを紹介しました。また、地域で認知症に関する活動をしている市民3人が事例を発表しました。



◀ 子育てに関する意見交換を行う様子

子育て世代が意見交換 なすからタウンミーティング

市では、1月21日(日)に保健福祉センターで「なすからタウンミーティング」を開催しました。

「子育てしやすいまちづくりに向けて」をテーマに開催した今回は、子育て世代を中心に約20人が参加。参加者からは、療育と学校、福祉の連携や、休日の医療体制の充実、学校や登下校でのボランティアによる支援、イベントなどでの託児サービスの拡充、公共施設内トイレのユニバーサルシート(介護用ベッド)の設置などに関する意見や提案が出され、市長らと直接話し合いを行いました。



◀ 烏山高校生が参加者にスマホの操作を説明

烏山高校生による 市民向けスマホ教室を開催

市では、1月7日(日)、烏山高校生を講師とする市民向けスマホ教室を日野町自治会で開催しました。

これは、烏山高校が実施する地域課題解決キャリア教育「烏山学」において、「高齢者にスマホの操作を分かりやすく教える方法」について調査研究を行っていることから、市がドコモとの連携協定に基づき開催している市民向けスマホ教室に、烏山高校生を講師として招いたもの。教室では参加した26人に、LINEの使い方やインターネットの使い方などを丁寧に教えました。

自治会活動の課題解決に向け アンケート調査や研修会

課題把握のためのアンケート調査

市自治会連合会(中山桑男会長)では、自治会活動の現状や課題を把握し、持続可能な運営の在り方を探るため、9月8日(金)～22日(金)に市内の全自治会長を対象にアンケート調査を行いました。

アンケートの内容は、運営上の課題や活動の課題、行政に求める支援などに関するもので、各自治会が抱える課題が確認できました。アンケート結果の概要は、右記のとおりです。

課題解決に向けた研修会

12月14日(木)には、同連合会が烏山公民館で自治会連合会研修会を開き、市内の自治会長や市職員、市社会福祉協議会職員など約100人が参加しました。

当日は、上記アンケートの調査結果から見える課題と展望について、NPO法人とちぎユースサポーターズネットワーク代表理事の岩井俊宗さんが講演。本市は、新たな変化を生み出す人材や体力が不足していることから、その現状を踏まえ、外部と連携した課題解決の提案がありました。

アンケート結果の概要

運営上の課題

役員の担い手不足、役員の高齢化

活動の課題

空き家・空き地・耕作放棄地の管理などで困っている

行政などへ求める支援

自治会参画を促すための住民への啓発活動、他の自治会との交流や事例の共有

(回答率：83.33%)



研修会の様子

県立南那須特別支援学校で出前講座 模擬投票で選挙を身近に

市選挙管理委員会(佐竹信哉委員長)では、選挙に対する理解や関心を高めることを目的に、市内団体や教育機関を対象に出前講座を実施しています。

1月12日(金)には、県立南那須特別支援学校で出前講座を実施し、高等部2年生25人が参加。選挙の意義や投票に行くことの大切さ、投票の仕方などを学びました。講座には、明るい選挙のイメージキャラクター「めいすいくん」も駆けつけ、生徒たちと一緒に投票用紙の書き方〇×クイズを行ったほか、実際に選挙で使用している記載台や投票箱を用いた模擬投票を行いました。また、初の試みとして「コミュニケーションボード」を作成し、紹介しました。ボードには投票時によくある問い合わせ内容がイラストを交えて記載されており、自分の意思を口頭で伝えることが難しい人であっても、指差してコミュニケーションをとることができます。



現在、若い世代の投票率の低さが問題となっています。自分の意思を世の中に反映させるためにも、忘れずに投票に行きましょう。



〇×クイズで投票用紙の書き方を学ぶ生徒

コミュニケーションボード

とうひょうじょ こま 投票所で困ったら、当てはまるものを指さして、係の人に見せてください。	とうひょう かり ひと み 投票所への入場券(はがき)が、ありません。	とうひょう かに 投票のやり方を、教えてください。
こうほい ね 候補者が、分かりません。	か 代わりに書いてください。	か とうひょう よ 誰に投票したら良いのかわからなくなりました。
か まが 書き間違えました。	か 代わりに読んでください。	そうばん 相談したいことがあります。

那須烏山市選挙管理委員会

コミュニケーションボード(一例)

J Aなす南いちご部会が提供 「とちあいか」が学校給食に

J Aなす南いちご部会では、地元特産品を利用した食育・地域貢献事業の一環として、毎年、市内の小・中学校と県立南那須特別支援学校の給食にいちごを提供しています。今年は、市内の小・中学校に3,400粒、県立南那須特別支援学校に480粒の「とちあいか」が提供されました。「とちあいか」は、ジューシーで甘みが強く、縦に切ると断面がハート型になることが特徴です。

1月16日(火)には、J Aなす南の中山正樹代表理事組合長と磯廣之副会長が市役所烏山庁舎を訪れ、川俣純子市長と田代和義教育長にいちごを手渡し、今年の出来を報告しました。今季は、夏の高温の影響で生育が遅れましたが、現在は例年どおり順調に生育しているそうです。磯副会長は、「子どもたちが喜んでいちごを食べてくれればうれしい」と話していました。

市内の小・中学校では、19日(金)の給食に「とちあいか」が登場。地元産のいちごを口いっぱい頬張った児童・生徒は、「とっても甘い」「いちご大好き」と笑顔を見せていました。



左から、中山組合長、田代教育長、川俣市長、磯副会長



いちごをうれしそうに頬張る児童（江川小）



◀烏山駅での出発前の様子

山あげ俳句全国大会実行委員会 アキュムに乗って五・七・五

11月5日(日)に山あげ俳句全国大会実行委員会(鈴木美江子実行委員長)が「JR烏山線100周年記念アキュムに乗って五・七・五」を開催し、市民など54人が参加しました。当日参加者は、烏山駅からアキュムに乗車し宇都宮駅へ。車内や駅周辺で俳句や川柳の種探しを行い、思い思いに句をよみました。後日、烏山高校まちづくりボランティア同好会と市観光協会により選考が行われ、入選句6つが選ばれました。入選句は市ホームページに掲載していますので、ご覧ください。



◀大谷選手が寄贈したグローブを手にする児童(七合小)

市内の小学校へ 大谷翔平選手からグローブ届く

アメリカのメジャーリーグで活躍する大谷翔平選手から、全国の小学校にグローブが寄贈され、1月15日(月)までに市内5つの小学校にも届きました。寄贈されたグローブは各校とも、右利き高学年用、右利き低学年用、左利き用の3つ。七合小では、グローブをはめてキャッチボールを楽しむ児童らの姿が見られました。

同校5年の青木楓汰さん(中山)は、「グローブが届いてとてもうれしい。これからたくさん使いたい」と笑顔で話していました。



◀大賞を受賞した菊地さん

菊地さんが大賞に輝く 「とちぎの星」食味コンテスト

栃木県が開発したオリジナル品種の米「とちぎの星」の香りや味を評価する令和5年度とちぎの星食味コンテストで、菊地栄一さん(上川井)が最高賞の大賞を受賞しました。これは、とちぎの星の認知度向上などを目的に(一社)とちぎ農産物マーケティング協会などが開いているもので、県内の農家や企業などから出品された41点を機械で成分分析し、上位10点を専門家が実際に味わって審査しました。

菊地さんは、「毎日田んぼに行き、水管理を徹底した甲斐があった。大賞をいただけてうれしい」と喜びを語りました。



◀緑白綬有功章を受賞した
礼子さん(右)、一美さん(左)

興野礼子さん・一美さん夫妻 酪農で緑白綬有功章を受章

興野礼子さん・一美さん(興野)が、地域農業の発展に顕著な功績をあげたとして、(公社)大日本農会(総裁:秋篠宮皇嗣殿下)から畜産部門で緑白綬有功章を受章しました。興野さん夫妻は、酪農経営について役割分担を明確化する「家族経営協定」を早期に締結し、経営規模の拡大やスマート農業を実現したほか、酪農における男女共同参画の推進、人材育成など地域全体の酪農振興に尽力してきました。

興野さん夫妻は、「素晴らしい章をいただき光栄。関わった皆さんに感謝している」と話していました。



◀餅つきに挑戦する子どもたち

荒川南部地域保全会 4年ぶりに収穫祭開催

荒川南部地域保全会(山田清会長)主催の収穫祭が、12月16日(土)に大里公民館で開催され、地域住民約45人のほか、JR東日本宇都宮運輸区の社員も参加し、収穫の喜びを分かち合いました。

収穫祭では、猿久保田んぼ公園内の田んぼで、同保全会員や地域住民が手植え・手刈り・天日干しして大切に育てた「もち米」を使用し、子どもたちが一生懸命餅をつきました。その後は、できたての餅が入ったお雑煮や甘酒などが振る舞われ、参加者は手作り料理に舌鼓を打ちました。



◀中山さんから球の投げ方を教わる参加者

本市出身のトップ選手に学ぶ ソフトボール教室

市スポーツ協会ソフトボール部(佐藤幸一部長)が、12月29日(金)、烏山運動公園でソフトボール教室を初めて開催しました。講師は、藤田出身で、現在は岐阜県「大垣ミナモソフトボールクラブ」の投手として活躍する中山日菜子さん。昨年4月には、韓国で開かれた「第13回女子アジアカップ」に日本代表として出場し、チーム優勝に貢献しました。

当日は、市内外のソフトボールチームから約30人が参加。トップ選手から球の投げ方やバッティングのコツなどを教わりながら、爽やかな汗を流しました。

100歳おめでとうございます

勝木ウタさん(金井1丁目)が12月20日(水)に、川原アヤ子さん(金井1丁目)が12月28日(木)に、齋藤シモさん(野上)が12月31日(日)に、盤野ハツイさん(滝田)が1月15日(月)に満100歳の誕生日を迎え、市から記念品が贈られました。

勝木ウタさん



以前は農業を営んでいた勝木さん。現在通っているデイサービスでは、工作を楽しんでいて、折り紙で作ったものを自宅に飾っているそうです。

100歳になった実感はあまりないようですが、「ご飯をいっぱい食べて、よく寝ること」が元気の源と話す勝木さん。誕生日には、お寿司を食べてお祝いしたそうです。

川原アヤ子さん



川原さんは、裁縫が得意で、よく友人から頼まれて着物などを縫っていたそう。現在は、デイサービスに通っていて、利用者の人と話すことが楽しみのようです。

大きな病気にかかったことがない川原さん。「3食きちんと食べて、間食しないこと」が長生の秘訣だそうで、「100歳のお祝いをしてもらえてありがたい」と話してくれました。

齋藤シモさん



カラオケやパズル、編み物などが趣味という齋藤さん。食事の時間になると、ひ孫が手を引いて連れて行ってくれることがうれしいそうです。食べ物では、バナナやいちごなどの甘い果物が好きとのこと。

長生の秘訣は、「趣味を楽しみ、悔いがないように生きること」。様々な病を乗り越えてきたという齋藤さんは、「100歳を迎えられたことが夢のようです」と話してくれました。

盤野ハツイさん



自宅や施設ではお茶を飲むことが日課だという盤野さん。以前は菊を育てていて、かつてコンテストで金賞を受賞したこともあるそうです。また、乗り物好きで、友人らと新幹線で旅行に行っていたほか、80歳半ばまでバイクに乗って出掛けていたそうです。

100歳を迎え、「うれしい」と話す盤野さん。家族が炊いてくれたお赤飯を食べ、100歳をお祝いしたそうです。

那須烏山市ごみ分別だより 食べ物のムダをなくしましょう

食品ロスとは、本来食べられるのに捨てられてしまう食品のことです。日本の食品ロスは年間523万トンと推計され、これは国民1人あたりが毎日茶碗1杯分のごはんを廃棄していることに相当します。

◇売れ残りなども深刻な食品ロス

南那須地区広域保健衛生センターでは、毎日各市町にあるスーパーマーケットなどから、売れずに廃棄されてしまう食料品などが多く搬入されています。

◇てまえどりを心がけましょう

売れ残りの食品を減らすためには、賞味期限や消費期限の長い商品を選ぶのではなく、手前に陳列された商品を購入する「てまえどり」が大切です。購入してすぐ食べる場合は、手前から取るように心がけましょう。

◇知っていますか？食品の期限表示

すべての加工商品には「賞味期限」または「消費期限」が表示されています。

■賞味期限…美味しく食べられる期限

■消費期限…安全に食べられる期限

期限表示の意味を正しく理解して、食品の無駄を減らしましょう！



売れずに廃棄されてしまう弁当や加工食品類

すぐ食べるものは
手前から
とりましょう！



消費期限

劣化が早い食品に表示。
期限を超えると安全でなくなる
可能性がある。

弁当・調理パン・生菓子類など

賞味期限

劣化が比較的早い食品に表示。
期限を越えてもすぐに安全性に
問題が発生するとは限らない。

スナック菓子・カップめんなど



思春期教室

市では、市内の小学6年生・中学3年生を対象に、助産師・保健師・看護師が各学校を訪問し、授業の一環として思春期教室を行っています。

思春期教室とは

思春期の心身の変化やLGBTQのこと、妊娠中の胎児の成長の様子、赤ちゃん人形の抱っこ、妊婦体験などをおして正しい知識を習得し、命の大切さや男女の違いについての理解を深めています。また、自分と向き合う機会を設けることで、困難を乗り越える力を養うとともに、自他ともに尊重し合うことの大切さを学んでいます。

※思春期の問題は、自分ひとりでは解決できないことも多いため、ひとりで悩まず、周りの大人に相談するようにお話しています。

■問合せ こども課支援政策グループ
☎0287-88-7116



荒川小



南那須中

まちかど*レポート



自慢のナポリピザと沢村さん

ふるさとにかける熱い思い

ピザ職人 沢村 卓さん



こだわりの具材をトッピング

プロフィール

- 住 所：城東
- 趣 味：食べ歩き、読書、温泉

県内のイタリア料理店で腕を磨いていた沢村さんは、「ふるさとを元気づけたい」という思いから一念発起。料理人として「武器」となる技術を身に付けるため、上京して「ナポリピザ」を学び、令和4年、中央にピッツェリア「モンテ・コルヴォ」をオープンしました。

この食材でどんなピザをつくらうか。地元でとれた食材で、地元の人に喜ばれる料理を作ろうと、沢村さんは日々、メニューの研究に力を入れています。また、子ども向けに開いているピザ作り教室では、子どもらしい斬新な具材の組み合わせから、アイデアをもらうこともあるそうです。「ピザ作りをとおして、子どもたちにレストランが楽しい場所だということを知ってもらいたい。大人になったときにこの体験を思い出して、ふるさとのことを考えてくれたら」と優しい表情を見せます。

「目指すのは、気軽に立ち寄れる『まちのピザ屋さん』。イベントの企画など自分にできることで地元を元気づけ、次の世代につないでいきたい」と熱い思いを抱く沢村さん。自分の店を構えた先にある、ふるさとを元気にしたいという目標に向かって、沢村さんの挑戦は続きます。

JR烏山線全線開業100周年事業 「からせん」の思い出

JR烏山線が令和5年4月に全線開業100周年を迎えたことを記念し、市民の皆さんから寄せられた「からせん」の思い出を紹介します。

新島泰弘さん(鴻野山)からのエピソード

「線路は続くよ、どこまでも」こう歌われた鉄路も、存続の危機にある。

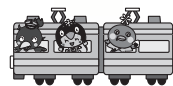
東野鉄道小川や水郡線常陸大子への延伸を夢見た未完の常野線、貨車の行き交った昭和50年代、駅舎の車寄せ屋根から外に伸びた乗客の列、廃線回避策の存続運動、わずかな時間差で乗り遅れた下り列車を見送りホームで食べた立ち食い蕎麦の味、宇都宮線や日光線でも走ったキハ40形車両、亡き父と家族で乗った風つこ号…二本の線路は、古き良き時代と想い出を運んでくれました。今こそ、そしてこれからも、「乗って残そう、烏山線」

常磐津津栄太夫さん(小倉)からのエピソード

山あげ祭が大好きな小学生だった私は祭典期間中、毎日大金から烏山を往復していた。大金から宇都宮に行く気動車の中で三味線を弾いていたおじさんを見つけて、「おじちゃんとっても上手だね。僕も大人になったらやってみたいな」と話かけた。おじちゃんは「大きくなったらおいで、教えてあげるよ」と言った。

それから25年後、常磐津をやろうと亡き常磐津津太夫師匠の元に弟子入りをした。その時の会話は、師匠も覚えていらっしやらなかったが、私の中では、烏山線が結んでくれた大切な縁である。

気動車が引退したように、師匠も彼岸へ旅立ってしまったのが悔やまれるが烏山線が結んでくれたこの思い出は生涯忘れ得ぬものになるであろう。



お知らせ



市の人口

令和6年1月1日現在

人口 23,203(-65)

男	11,523	女	11,680
出生	3	死亡	51
転入	40	転出	57

世帯数 9,059

※()対前月比
※令和2年国勢調査を基に集計した統計人口です。



スポーツの結果

●第54回下野新聞社杯県中学生サッカー大会

(12月2日(土)、3日(日)、9日(土)、16日(土)、17日(日)、23日(土)栃木県グリーンスタジアム他)

▽優勝：齋藤竣介(ともぞうSCU-14)



おめでた

赤ちゃん名 (保護者住所)
 中山 碧唯(純貴・美帆)南1丁目
 小林 希妃奈(隆充・雅代)月次
 川俣 陽大(佑太・香寿美)旭1丁目

※ここでは、保護者などの了解が得られた情報のみを掲載しています。

●第77回栃木県小学生柔道錬成大会

(11月23日(木・祝)ユウケイ武道館)

【2年生男子1】▽優勝：平野陽大(習励館大橋道場)

【2年生男子3】▽準優勝：赤坂駿次郎(習励館大橋道場)

【3年生男子6】▽準優勝：大森羽琉(習励館大橋道場)

●第13回牛久かっぱ杯争奪全国青少年空手道選手権大会(12月16日(土)、17日(日)牛久総合運動公園体育館)

【中学3年生男子組手】▽第3位：五十嵐大夢(烏山中)

●第8回栃木県神社庁南那須支部長杯剣道錬成大会(12月16日(土)那須烏山市武道館)

・団体の部
【小学5年生以上の部】▽第3位：宏倫剣道スポーツ少年団A

【中学生の部】▽第3位：烏山中

・個人の部
【小学2年生以下の部】▽優勝：小川空澄(宏倫剣道)

【小学3・4年生の部】▽第3位：山本一太(宏倫剣道)

【小学5・6年生の部】▽第3位：河和歩武(宏倫剣道)

【中学生男子の部】▽優勝：新井琢仁(烏山中)▽準優勝：石川帆空(宏倫剣道)▽第3位：高橋遙灯(烏山中)

【中学生女子の部】▽第3位：川上翠

音(南那須中)

【高校・一般男子の部】▽優勝：高野裕翔(矢板中央高・興野)

【高校・一般女子の部】▽準優勝：滝口桃子(宇都宮短期大学附属高・志鳥)



「グ」寄附

ありがとうございます
ごぞいます

■保健事業寄附金

福澤一宏様(高根沢町)から、寄附をいただきました。

■ふるさと応援寄附金

水谷美香様(東京都中央区)から10万円、山口智也様(東京都西東京市)から5万9千円、幕谷悠介様(大阪府堺市)から4万5千円、秋本晃宏様(東京都墨田区)から3万3千円、尾形愛理子様(東京都三鷹市)今谷知夏子様(神奈川県横浜)徳原みどり様(日光市)から各1万円、正兼茂樹様(広島県広島市)から8千円、匿名希望様144人から合計47万9千5百円が本市に寄附されました。

文芸コーナー川柳選者 篠崎酔月さんご逝去

広報なすからすやま文芸コーナーの川柳選者である篠崎酔月さん(本名：篠崎昌久さん・福岡)が令和6年1月12日にご逝去されました。

篠崎さんは、昭和56年4月号から旧南那須町の広報紙の文芸選者に就任。2町合併後は、文芸コーナー開始当初の平成19年4月号から令和6年1月号まで通算40年以上にわたりご活躍されました。

ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。



おわびと訂正

1月号14ページのスポーツの結果「第16回市民剣道祭」の記事で、「小川夏海那」とあるのは、正しくは「小林夏海那」です。

おわびし訂正いたします。



編集後記

先日、初めてスノーボードに行ってきました！ウィンタースポーツの経験がほぼない私にとって、ちょっと無謀な挑戦かもしれませんが、上級者の友人に連れていってもらうことに。

事前に動画を見て、立ち方・滑り方のイメージトレーニングは完璧！だったのですが…いざ雪の上になると、まず立ち上がることができません！初歩中の初歩でつまずき、「私にはソリ遊びがお似合いか…」と絶望していましたが、友人が文字どおり手取り足取り教えてくれたおかげで、ちょっとずつ滑れるようになりました。グレンデでは、いつもの何倍も友人の優しさが身にしみましたね…でも、やってみて後悔なし！また行きたいです！（M）



新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204
 烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

図書館HPから新着図書が検索できます。 <https://lib-nasukarasuyama.jp/>

◆一般図書◆

- ◇『ビジュアルでわかる日本』 にゃんこそば
- ◇『肉のごちそうがないと始まらない！』 オレンジページ
- ◇『墓じまいラプソディ』 垣谷 美雨
- ◇『互換性の王子』 零井 脩介
- ◇『余白の迷路』 赤川 次郎
- ◇『潜水鐘に乗って』 ルーシー・ウッド

◆CD◆

- ◇『replica』 VAUNDY
- ◇『THE GREATEST UNKNOWN』 KING GNU
- ◇『miss you』 Mr.Children
- ◇『ジブリをうたう』 岸田 繁ほか
- ◇『脈打つ感情』 日向坂 46
- ◇『笑福亭笑瓶落語集』 笑福亭 笑瓶

◆電子図書◆

- ◇『10分で名著』 古市 憲寿
- ◇『六龍が導く神社ガイド』羽賀 ヒカル
- ◇『関東のおいしい道の駅 &SA・PA 2023』 JTB パブリッシング
- ◇『いちごのお菓子づくり』 今井 ようこ・藤沢 かえで
- ◇『マンガでわかるはじめての自然菜園』 竹内 孝功
- ◇『だれかさんのかたっぽてぶくろ』 すずき みほ
- ◇『川の科学ずかん』 知花 武佳
- ◇『おぼけの学校であそぼう！』 いしかわ まりこ
- ◇『紫式部へタイムワープ』 イセケヌ
- ◇『あたしデイズ』 いたう みく
- ◇『ゆきのゆきちゃん』 きくち ちき
- ◇『ガウディさんとドラゴンの街』 パウ・エストラダ

◆児童図書◆

作品集

毎月5日までに、総合政策課広報広聴グループ ☎321-10692 那須烏山市中央1丁目1番1号)あて、郵送などご応募ください。

欄外に食はみ出すほどにきらきらの思いがあつた昭和の日記 川俣登志子(旭)
 東西の名産届く年の瀬よ午後のひととき味を旅する 平澤フサ子(金井)
 去年より今年は一歩前進し生きようこれぞ福の道なり 滝 輝巳(福岡)
 龍門の滝民芸ふるさと館に語り部我は心を込めて 須田 孝子(城東)

短歌

滝口 節子 選

今月号はおやすみです。

川柳

篠崎 酔月 選

ひとり居に急ぐことなき師走かな 渡辺 節子(大金)
 夫を待ち子を待つ暮らし大根煮る 小針 久子(月次)
 ゆつたりと手足をのばす柚湯かな 坂本 蓉子(大金)
 ひとり居に急ぐことなき師走かな 塩野目洋子(初音)

俳句

水野 信一 選



文芸コーナー

有料広告を掲載しませんか？

市では、「広報なすからすやま」「広報お知らせ版」「市ホームページ」の有料広告を募集しています。掲載を希望する場合には、左記お問い合わせください。
 ■総合政策課広報広聴グループ ☎0287-1831112

広告種類	位置	規格	掲載料(税込)	発行日など
広報なすからすやま	表紙・最終頁を除く下面	2色刷 縦4.7cm×横8.4cm	5,000円/1回	・毎月10日に発行 ・行政区長文書配布、スーパー、コンビニエンスストアなどに配置
	最終頁の下面	カラー刷 縦4.7cm×横8.4cm	10,000円/1回	
広報お知らせ版	表紙・最終頁の下面	白黒刷 縦4.5cm×横10.0cm	5,000円/1回	・毎月1・15日に発行 ・新聞折込、スーパー、コンビニエンスストアなどに配置
市ホームページバナー広告	トップページの下面	縦50ピクセル×横150ピクセル 容量：4KB以内 画像形式：GIF・JPEG・PNG	5,000円/1か月	実績 4年度接続件数：604,188件 ページ閲覧件数：1,754,687件

みんなの 自慢の1枚



市民の皆さんが撮影した写真を掲載します。
子どもの写真(中学生以下)、市内のイチオシ風景や穴場スポットの
写真、ペットの写真、偶然撮れたおもしろい写真(珍百景)など、気軽
にご応募ください。

応募の際は、①応募者の住所・氏名・連絡先、②掲載する際の名前(氏
名・ペンネーム・匿名のいずれかを記載)、③写真のタイトル、④写真
について一言(50字程度)記載してください。

■問合せ 総合政策課広報広聴グループ

Eメール: sohgoheisaku@city.nasukarasuyama.lg.jp



「テニスの大会」

僚馬と蓮二さん

テニスの大会で3度目の正直で兄が弟に勝ち
ました！
これから切磋琢磨して欲しいです！！



「うちのクロちゃん」

ぱたぼんさん

幼稚園に通う小さなお客様が、我が家の黒猫
を描いてくれました。

冬の夜をきらびやかに彩る 山あげ会館イルミネーション

心に灯りをともす会(越雲深雪代表)による「山あ
げ会館イルミネーション2023」が令和5年12月
16日(土)から1月13日(土)まで開かれ、家族連れ
などでにぎわいました。

12月16日(土)に行われた点灯式では、カウ
ンタウンで電飾が一齐に輝くと、会場からは歓声
があがりました。また、ステージイベントではバ
ンド演奏やダンスなどが披露されたほか、会場
には温かい食べ物や飲み物を販売するキッチン
カーなども並びました。訪れた人は、イルミ
ネーションで彩られた幻想的な空間を楽しんで
いました。



冬の夜に色とりどりの電飾が輝く

八溝そば街道推進協議会 日光で寒ざらしそばの仕込み

八溝そば街道推進協議会では、日光市の白滝
で「寒ざらしそば」の仕込みを行いました。

寒ざらしそばとは、秋に収穫されたそばの実を冷
たい水につけ、寒風にさらして乾燥させたそば粉を
使って打つそばのことで、この仕込みによって余
分なアクや渋みが抜け、より甘みや風味が引き出
されます。秋に収穫したそばの実約5.3トンが、1
月10日(水)に関係者約20人によって冷たい滝つ
ぼに沈められ、17日(水)に引き上げられました。こ
の寒ざらしそばは、夏までゆっくり熟成させたあ
と、八溝そば街道推進協議会加盟店舗で提供され
ます。



滝つぼにそばの実を沈める関係者